

退院支援推進チーム

海外転院をスムーズに進めたい

▶ 支援を依頼する職種の設定

MSW

退院支援センター看護師

通訳士

医事課スタッフ

医師、薬剤師の方々 等

依頼内容

- ▶ 確認事項のピックアップ
 - ▶ 支援依頼する多職種に関わる内容を羅列選別する。事項を誰に確認するのかを明確にする
 - ▶ 所要時間を考慮し、時系列に沿ってタイムスケジュールの作成、☑形式で作成し確認漏れを防止
 - ▶ パスの様な汎用性

▶作成時の注意点

対象（患者、家族）の特徴の把握が大切

（一度決定した内容の急な変更依頼があっても不可能な事例が多い）

**Discharge Tasksを活用しての
脳神経外科・脳神経内患者の
退院調整**

目指すもの

入院期間の短縮

- ・ 病床稼働率 90%
- ・ 入院期間10日以内
- ・ DPCⅡ以内での退院

DPCⅢ、Ⅲ超えの現状 (2025年8月末時点)

1 2 A病棟 脳神経外科 35% 脳神経内科 50%

1 2 B病棟 脳神経外科 42%

目標は、30%以下

原因

- ・病状が深刻なため、方向性の目途が付きづらく、早期からMSW介入が入らない
- ・追加治療があることが多く、転院時期の見極めが難しい
- ・SCUと一般病棟の退院調整に関する連携が薄い
- ・医師と話し合いの機会が少ない
- ・退院調整に関するツールが統一されていない

今後の方向性

Discharge tasksの活用

➡ 退院支援の進行状況が分かるツールであるが、
現状活用されていない



脳神経外科、脳神経内科が関わる医師、各病
棟看護師、MSWでを使用して情報共有してい
くように、橋渡しをしていく